

ニセ電話詐欺の認知状況（令和3年中）

認知件数・被害総額ともに大幅増

1 県内のニセ電話詐欺の認知状況（令和3年中）

- 被害認知件数は**97件**（前年同期比+59件）
- 被害総額は**約2億6,889万円**（前年同期比+約1億5,664万円）

2 令和3年12月の認知状況

- 被害認知件数は**11件**（前年同月比+4件）
- 被害額は**約1,074万円**（前年同月比+約304万円）
- 手口は全て**架空料金請求詐欺**

3 県内のニセ電話詐欺の傾向（令和3年中）

令和3年中の被害状況は上記のとおりであり、前年と比較し大幅に増加しました。要因として、

- **架空料金請求詐欺の件数が61件と、前年と比較し39件増加したこと**
- **前年は1件であった還付金詐欺の件数が21件と急増したこと**

などが挙げられます。この2つは認知件数全体の**8割以上**を占めており特に注意が必要です。手口はそのほかにも様々ですが、

電話やメールでお金の話がでたら詐欺

を疑い、**すぐに家族や警察に相談**してください。

また、下表のとおり、ニセ電話詐欺は**10歳代から80歳代**までの幅広い年代の方が被害に遭うなど、**非常に身近な犯罪**です。「自分は大丈夫。」と思わずに、

非通知着信拒否や迷惑電話防止機器等で対策

を行いましょう。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和3年12月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	1	-	1
20～29	2	7	9
30～39	-	2	2
40～49	4	3	7
50～59	8	11	19
60～64	8	8	16
65～69	9	21	30
70～79	2	7	9
80～89	2	2	4
90～	-	-	-
合計	36	61	97
うち65歳以上の高齢者	13	30	43

～ニセ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和3年12月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	54
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	4
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	1
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	36
キャッシュカード手交型	2
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	-
合計	97